

【MUSUBI部会】

「観光アプリを活用した自転車のまち宇都宮の観光PRについて」

質問者：宇都宮市立田原中学校

2年 岡田 果乃

宇都宮海星女子学院高等学校

2年 大塚 仁智



私たちは「観光アプリを活用した自転車のまち宇都宮の観光PRについて」を提案いたします。

今回私たちは、研修会で宇都宮の観光と自転車のまち宇都宮の推進について勉強しました。調べていくと、宇都宮市では観光PRのために、JR宇都宮駅観光案内所での観光パンフレットの配布や、インターネットや観光アプリによる情報発信を行っていることを知りました。また、自転車のまちを推進するために自転車マップの配布やスポーツバイクのレンタルを行う宮サイクルステーションの運営など様々な取り組みを行っていることが分かりました。

そこで、自転車のまち宇都宮をさらに知ってもらうために、観光の視点でPRしてはどうかと考えました。

提案に当たっては、私たち中高生の新しい視点を入れることが効果的だと考え、「自転車を使った観光コース」と、「中高生おすすめスポットの紹介」を観光アプリへ掲載することを提案します。まず、「自転車を使った観光コース」についてですが、自転車のまち宇都宮を観光の視点でPRしていくために、宇都宮の観光アプリに現在市で設定しているサイクリングルートを活用し、「自転車を使った観光コース」をモデルコースとして載せてはどうかと考えました。

また、「中高生おすすめスポットの紹介」についてですが、観光アプリに掲載する自転車を使った観光コースに、私たち中高生がおすすめするカフェやスポットを取り入れることで、宇都宮の魅力を市内外の方や若い世代にもPRでき、宇都宮のまちをさらに活性化できるのではないかと考えました。

この提案で、宇都宮の魅力をもっと市内外の人や若者にもPRすることで、多くの人が集まれば、私たち部会の目標である宇都宮の魅力を宇都宮市外にも発信し、宇都宮と、全国、全世界を結べると思います。

以上で提案を終わります。

よろしく申し上げます。

「市内の中高生に向けた宇都宮の伝統工芸のPRについて」

質問者：宇都宮市立城山中学校 2年 小久保 咲希

栃木県立宇都宮北高校 1年 宮下 結衣

私たちは「市内の中高生に向けた宇都宮の伝統工芸のPRについて」を提案いたします。

今回私たちは、研修会で宇都宮の伝統工芸について勉強しました。調べていくと、伝統工芸品について私たちがあまり知らないということや、後継者が不足している伝統工芸品があることがわかりました。一方で、宮染めシャツや野州てんまりストラップなどにおいては、現代風のデザインで、中高生にとって魅力的な品が作られていることもわかりました。そこで、市内の中高生に向けて宇都宮の伝統工芸の認知度を向上させ、伝統工芸品や伝統工芸士という職業についての魅力に気付いてもらうことが大切だと考えました。

提案に当たっては、市内の中高生に伝統工芸を知ってもらうとともに、伝統工芸士の方に中高生の意見を知ってもらうことが効果的であると考えました。そこで、「市のイベントを活用した伝統工芸品の展示、販売」と「中高生と伝統工芸士の意見交換の機会の設定」について提案いたします。

まず、「市のイベントを活用した伝統工芸品の展示、販売」についてです。中高生の利用が多い市のイベントで、中高生に向けた現代風のデザインのを展示、販売することで、実際に実物を見たり、購入して使用したりして、伝統工芸品を身近に感じることができると考えました。

次に、「中高生と伝統工芸士の意見交換の機会の設定」についてです。意見交換の機会を設けることで、中高生にとっては、伝統工芸士という職業や伝統工芸品の歴史について詳しく知ることができ、伝統工芸士の方にとっては、伝統工芸品のデザインや販売、周知方法を考えていくうえで、中高生の意見を取り入れることができると考えました。

以上の提案を実現させることにより、市内の中高生に、伝統工芸品や伝統工芸士という職業についての魅力に気付いてもらうことができるのではないのでしょうか。これらの取組が実現した際には、私たち中高生も積極的に参加していきたいと考えています。

以上で提案を終わります。よろしくをお願いします。



答弁者：佐藤 栄一 宇都宮市長

「MUSUBI^{むすび}部会」の皆さんからの若者の視点で本市の魅力を市内外にPRするという積極的なご提案に大変感心いたしました。

それでは、ご質問にお答えいたします。

まず、「観光アプリを活用した自転車のまち宇都宮の観光PRについて」であります。本市におきましては、アジア最高位の自転車レースであるジャパンカップサイクルロードレースが開催される自転車のまちとして、国内外からの観光誘客を図るとともに、観光客の皆様へ、本市の魅力のひとつである自転車を活用して市内を周遊していただけるよう、市内の見どころを巡る14ルートを掲載した自転車マップを作成し、市役所やJR宇都宮駅観光案内所、宮サイクルステーションなどで配布しているところでありますが、配布場所に行かなければ情報が得られないことや、情報更新の頻度に課題があると認識しております。

このような中、議員ご提案の宇都宮市観光アプリを活用した「自転車を使った観光コース」のPRにつきましても、多くの方が利用するスマートフォンなどで情報入手が容易になるとともに随時、情報の更新が可能になり新鮮な情報が提供できるなど大変効果的であると考えられますことから早期に実現できるよう、取り組んでまいります。

次に、「中高生おすすめスポットの紹介」についてであります。観光アプリに掲載するサイクリングコースに中高生が選んだ観光スポットや飲食店などを取り入れることで、若者の視点による本市の新たな魅力が発信され、誘客が期待できるとともに、若者をはじめ、幅広い年代の方々にも自転車を利用した観光を体験していただけるきっかけづくりになると考えられますことから、今後、議員の皆様を含めた中高生のご協力をいただきながら観光アプリに設定した、サイクリングコースへの中高生おすすめスポットの掲載に取り組んでまいります。

今後とも、本市の魅力を国内外に発信し、世界から注目される「自転車のまち宇都宮」をめざしてまいります。

次に、「市内の中高生に向けた宇都宮の伝統工芸品のPRについて」であります。まず、「市のイベントを活用した伝統工芸品の展示、販売」についてであります。日本のものづくり文化として息づいてきた伝統工芸品を将来にわたって守っていくためには、若者をはじめ、市民の方に伝統工芸品を知って、誇りに思ってもらえることが重要であると認識しております。

本市ではこれまで、宇都宮の伝統工芸の魅力を市民の方に感じていただくため、宇都宮の伝統工芸品の紹介や、販売場所を記載いたしました。パンフレットの配布を行うとともに、伝統工芸士を「宮のものづくり達人」として学校等に派遣するほか、宇都宮駅ビルPASEO等における、伝統工芸品の展示や販売などを実施しております。

議員ご提案のとおり、若い方に、伝統工芸品を身近に感じていただくためには、多くの中高生が参加する市のイベントを活用することは大変有効であると考えております。

このようなことから、中高生をはじめ、一人でも多くの方に、伝統工芸品の魅力を感じていただけるよう、「宮っこフェスタ」など、若い人達が参加する市のイベント等を活用した、伝統工芸品の展示や販売などについて、検討してまいります。

次に、「中高生と伝統工芸士の意見交換の機会の設定」についてであります。現在、本市では定期的に、伝統工芸士の方々と、後継者問題や販売促進などの課題について、意見交換を行っているところであります。議員ご提案のとおり、中高生に伝統工芸士という職業や伝統工芸品の歴史について知っていただくことや、伝統工芸士が、若者の好むデザインなど、中高生のフレッシュな意見を聞くことは、課題解決に向けて大変有意義なことであると考えておりますことから、今年度から、議員の皆様を含めた中高生と伝統工芸士との意見交換が実現できるよう取り組んでまいります。

今後とも、多くの市民の方に、伝統工芸品の素晴らしさを知っていただけますよう、普及啓発に努めてまいります。

【Star of SMKT部会】

「都市景観のPR方法について」

質問者：宇都宮市立旭中学校

2年 田中 紗瑛子

栃木県立宇都宮清陵高等学校

2年 金岩 真凜



わたしたちは、「都市景観のPR方法について」を提案致します。

今回私たちは、研修会で都市景観の広報状況を学びました。すると、現在使われている広報のSNSはFacebookだけであること、「うつのみや百景」などのPRパンフレットを制作していることがわかりました。しかし、Facebookは若年層の利用者が少なく情報が伝わっていない現状であり、また、PRパンフレットは若者に知られていないことが多く、サイズも大きいため手軽に使えないものであると考えました。そこで、宇都宮の景観について多くの市民に知ってもらうために次の2つのPR方法を提案します。

まず、「SNSを使った都市景観のPR」についてです。

例えば、若者が多く利用しているSNSであるInstagramを利用した写真コンテストを行うことによって若者に興味を持ってもらうことができます。加えて、コンテスト参加者に共通のハッシュタグ（^{ハッシュタグ} # うつのみや百景 など）をつけてもらうことで写真が多くの人目に留まりやすくなると思います。

また、写真コンテストで入賞した写真を、広報うつのみやなどのパンフレットに、表紙として起用したり、紙面にミニコーナーを作って掲載したりすることで、幅広い年齢層の人が、宇都宮市の景観に、より興味を持ちやすくなると思います。

次に、「PRパンフレットの活用」についてです。

景観に関する多くの情報が得られるように、写真を多用した、手に取りやすいサイズの冊子型のパンフレットに変えるとともに、学校の図書室や公共施設に置くことで、幅広くパンフレットを知ってもらえると思います。

このようなPR方法により、宇都宮の魅力を再発見し、幅広く「景観づくりの大切さ」を理解してもらうことが必要だと思います。

これからの未来のため、市民全員が快適に生活を送れるように、宇都宮の景観をより良くする必要があります。このPR方法は、市民全員が、景観のたくさんの情報を共有し、景観に興味を持ち、協力していくための一つの方法になりうると思います。私たちもこの取り組みに積極的に参加していきたいです。以上で提案を終わります。よろしくお願ひします。

「自転車の駅の利用促進について」

質問者：宇都宮市立陽東中学校 1年 狐塚 天達

宇都宮市立古里中学校 2年 古田土 蒼太

私たちは「自転車の駅の利用促進について」を提案いたします。

今回私たちは、研修会で宇都宮市の自転車を利用しやすくするための政策を勉強しました。調べていくと、宇都宮市の自転車についての施策は、全国的に見ても進んでいて、例えば安全に使用しやすくするための、自転車走行空間の整備や駐輪場の確保、そして快適に自転車が利用できるように、誰でも無料で借りられる工具や空気入れなどを用意した「自転車の駅」の設置などがされていることが分かりました。しかし、私たちは自転車の駅があることを知りませんでした。

私たちはこの「自転車の駅」をもっと知ってもらうために、「自転車の駅登録に伴う開設式」を提案します。

この「開設式」において、自転車の駅に設置する旗や看板、工具などをお渡しすることによって話題性が生まれ、市民の関心をひくことができるようになると思います。さらに、この開設式を私たち中高生が行うことにより、メディアにもとりあげてもらえるかもしれません。そうすると施設の宣伝にもなり、今後自転車の駅に登録したいという施設がさらに増えるのではないのでしょうか。

このような広報により、市民の自転車の駅の利用促進や、そのほかの宇都宮市が実施している自転車についての施策について、関心を持ってもらう糸口になると思います。また、市民が市内の自転車に関する施設について理解していれば、まちが一体となって自転車での観光をサポートできるため、安心して自転車で観光できるまちとして、さらに観光客が増えることが見込めます。

宇都宮市は、全国のほかの都市にはない、自転車についての様々な事業を行っています。このことはとても誇るべきことなのに、肝心の市民がそれを知らないなんてもったいないことです。宇都宮市が「自転車のまち」としてさらに発展するには、市民の理解が不可欠です。ぜひ市民の関心がさらに得られるような施策を実施していただきたいです。

以上で提案を終わりにします。

よろしくをお願いします。



答弁者：佐藤 栄一 宇都宮市長

スター オブ エヌエムゲーティ
S t a r o f S M K T 部会の宇都宮の景観や自転車のまちづくりを、もっと知ってもらいたいという気持ちが込められたご提案をいただき、大変心強く感じております。

それでは、ご質問にお答えいたします。

まず、「都市景観の PR 方法について」であります。景観まちづくりにおいては市民の理解促進がかかせないと考えており、現在、本市におきましては F a c e b o o k やパネル展などによる宇都宮の魅力の紹介やうつのみや百景ツアーや景観出前講座などの、市民参加による取組を行うなど、景観に対する意識の啓発を図っているところであります。

このような中、景観まちづくりを進めるうえでは、子どもの頃から身近なまちに関心を持っていただくことが大変重要でありますことから、とくに若い方が景観に興味を持ち参加してもらえるような取組みを推進していく必要があると考えております。

議員ご提案の「SNS を使った都市景観の PR」につきましては、写真や動画を手軽に情報発信できる I n s t a g r a m は、若い方も含め多くの人に利用され、様々な人に PR できる大変有効な手段でありますことから、I n s t a g r a m を始めとした SNS を利用した取組みにつきましては「まちなみ景観賞」など、現在行っている事業への活用も含めて充実を図ってまいります。

また、SNS に投稿された写真の活用につきましては、幅広い世代に対して宇都宮の景観に、より興味を持ってもらえるよう、ホームページやパンフレットに掲載するなどの取組みについて検討してまいります。

次に、「PR パンフレットの活用」につきましては、これまでも、宇都宮のすばらしい景観を知ってもらうため、写真や地図を載せた、見やすいパンフレットの作成や配布を行ってきたところでありますが、今後は、ご提案のような更に見やすさや、使いやすさに配慮したパンフレットを作成してまいります。

また、地区市民センターなどより多くの人の目につきやすい場所に設置し、配布場所の充実も図ってまいります。

今後とも、市民の皆さんが宇都宮の魅力を再発見し、景観についての興味を持っていただけるよう、SNS などのインターネットのほか様々な手法の活用により、効果的に情報を発信しながら、市民協働による、良好な都市景観の形成に積極的に取り組んでまいります。

次に、「自転車の駅の利用促進について」のご質問にお答えいたします。

本市におきましては、誰もが安全で快適に楽しく自転車を使えるまちづくりを目指し、全国に先駆(さきが)けて、平成22年12月に、「自転車のまち推進計画」を策定し、自転車走行空間やサイクリングロードの整備、自転車の安全利用に関する啓発活動、ジャパンカップサイクルロードレースの開催等の自転車を活用した観光振興など、総合的に自転車施策を推進するとともに、広報紙やホームページ、自転車マップ、自転車イベントなど、様々な機会をとらえながら市内外に「自転車のまち宇都宮」のPRに取り組んできたところであります。

自転車の駅につきましては、自転車利用環境の向上を図るため、スポーツバイク用駐輪ラックや自転車修理工具、空気入れポンプを設置し、自転車利用者をサポートする施設として、本市が設定したサイクリングルート¹の道路沿いに設置しているものであります。

設置にあたりましては、民間施設などの管理者のご協力をいただきながら公共施設や観光施設、コンビニエンスストア、飲食店などに、現在、51箇所設置しており、今年度、新たに3箇所の増設を予定しているところであります。

議員ご提案の「自転車の駅登録に伴う開設式」につきましては、ジュニア議員を始めとした中高生の皆さまに開設式を実施していただくことにより、幅広い年齢層に自転車の駅の利用を促進できるとともに、メディアに取り上げられることで、新たな自転車の駅の設置数の増加につながり、さらには、本市の自転車のまちの取組を広くPRできると考えておりますことから、具体化に向け、皆さまとともに、検討してまいりたいと考えております。

今後は、より多くの市民が、本市の自転車のまちづくりに関心を持って参画^{さんかく}していただけるようさらに、本市の取組のPRに努め、全国に誇れる日本一の「自転車のまち」を目指してまいります。